

ステキな景色をパシャリ／

#自分だけの

1コマ

市内で見かけるさまざまな景色。一人一人、お気に入りの景観があるはず。鈴鹿市景観計画の改定にあたり募集した「自分だけの1コマ」写真の中から、写真展（3月初旬）に使用した市内の景観写真を紹介します。

※現在は募集していません。



都市計画課公式
Instagram



ひと・まち・モータースポーツ

鈴鹿の道は世界に通ず

「鈴鹿の道は世界に通ず」—こう記された色紙が市役所で大切に保管されています。本田技研工業の創業者にして、本市の名誉市民でもある本田宗一郎さんの言葉です。



▲市役所に保管されている直筆色紙

本田さんは、鈴鹿サーキット

建設にあたり「自動車やバイクはレースをしなければ良くなならない」と語りました。極限の戦いであるレースを通じてこそ高度な技術が磨かれ、ひいては安全で快適な性能を備えた、世界に通用する製品づくりに生かされていくという考えです。そんな思いが凝縮された言葉こそが「鈴鹿の道は世界に通ず」ではないでしょう



▲近鉄平田町駅前ロータリーの石碑

.....
■中野能成（鈴鹿モータースポーツ友の会 事務局）

キーボード



高齢化が進み、誰にとっても他人事ではない「認知症」。今回の特集の制作にあたり、認知症の方を支援するさまざまな方を取材しました。

支援している方に共通していたのが、おもいやりの心。「オレンジカフェ」に参加するスタッフの方の、「当事者だけでなく家族にもゆっくりとした時間を過ごしてほしい」という気持ちに、おもいやりを感じました。優しい声掛けに、当事者の皆さんは笑顔を浮かべ、一緒に参加した家族も、ほっとした表情でした。

認知症の方が暮らしやすい社会にするためには、一部の人だけが支援するだけでなく、一人一人ができることに取り組むことが大事だと思います。私も、認知症サポーター養成講座を受講して、認知症への理解を深め、おもいやる心を持って行動しようと思います。（晴）